

対話から市政を動かす

まちづくり対話集会を開催しています



市では、市長が地域や団体などで活動する市民の皆さんとの対話を通じて、まちづくりへのご意見やアイデアをお聴きする「まちづくり対話集会」を開催しています。平成18年12月から、これまでに108回開催しました。今年度に開催した中から、一部を紹介します。

第107回 平成30年5月15日
旭川市PTA連合会の皆さん

人口減少対策について

参加者 旭川市の人口減少を抑えるために、子供たちに郷土愛を持たせたい。

市長 「旭川で頑張りたい」という気持ちを持った若い人々を増やしていくことが大切です。郷土への愛着と誇りを育む教育を推進します。

ものづくりの出前講座について

参加者 小・中学校で、ものづくりの出前講座を開くと、魅力的な催しになると思います。

市長 旭川は、ものづくり産業が盛んで、家具製作や木工、機械製作、金属加工など、様々な企業があります。技術力が非常に高く、頑張っている企業を、地元の子供たちに知ってもらえるような取組を進めます。

市HP「市長室へようこそ」の「対話の記録」のページでは、これまでに開催した「まちづくり対話集会」の詳しい内容や、市政に反映したご意見などを掲載しています



第108回 平成30年6月2日
市内の学生・生徒の皆さん

学校の新たな活用方法について

参加者 学校のグラウンドを、夏はラジオ体操の会場、冬は子供たちが作った雪像の展示場として開放すると、地域の憩いの場になって良いと思います。

市長 学校運営に保護者や地域の人々も携わるコミュニティ・スクールの設置準備が、市内の一部の小・中学校で始まっています。地域と学校が一体となった取組みが広がっていくことを期待しています。



廃校校舎の活用方法について

参加者 廃校校舎の壁に自由に絵を描けるようにしてカフェを併設し、アートと飲食を楽しめる場にすると、地域のアーティストたちが活躍できると思います。

市長 市内には、廃校後の建物が福祉施設として使われている例もありますが、活用されていない建物もあります。アーティストなどが自由に使えるようにすると、若い人たちに活用してもらえる可能性があります。

これまでの 反映状況

「まちづくり対話集会」で寄せられたご意見を、積極的に市政に反映しています。その中の主なものを紹介します。

意見・提言の内容	反 映 内 容
産前・産後の母親の不安を取り除くような取組を実施してほしい	安心して子育てができるように、平成30年度から支援を必要とする母子を対象に、宿泊や日帰りで、母親の心身のケアや育児のアドバイス等を実施しています
子供食堂への補助金を、会場使用料以外にも使えるようにしてほしい	市では、子供食堂を実施している団体等への助成を行っています。平成30年度は、立ち上げ支援講座を開催した他、補助金の対象に保険料を追加しました
子供の医療費助成を拡充してほしい	子供の疾病の早期発見と早期治療を促進し、健やかな育成を図るため、健康保険適用医療費の自己負担分の全部、または一部を助成しています。平成30年度からは、入院に加えて、通院に係る医療費の助成対象を、中学生まで拡充しました

【詳細】広報広聴課 ☎25・9100